

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: **プライマーAC-1**

会社名: サンスター技研株式会社
 住所: 山梨県南アルプス市宮沢181-1
 担当部門: 品質保証グループ
 電話番号: 055-284-3801
 化学品の推奨用途及び使用上の制限: 建築用途
 緊急連絡電話番号: 055-284-3801

2. 危険有害性の要約

GHS分類
 物理化学的危険性: 分類できない
 健康に対する有害性: 急性毒性(経口) 区分外
 急性毒性(経皮) 区分外
 急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) 区分外
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 分類できない
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分外
 呼吸器感受性 分類できない
 皮膚感受性 分類できない
 生殖細胞変異原性 分類できない
 発がん性 分類できない
 生殖毒性 区分外
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 分類できない
 環境に対する有害性
 水生環境有害性(急性) 区分外
 水生環境有害性(慢性) 区分外
 オゾン層に対する有害性 分類できない
 ラベル要素
 絵表示又はシンボル: 該当なし
 注意喚起語: 該当なし
 危険有害性情報: 該当情報なし
 国/地域情報: 15.適用法令に記載

3. 組成、成分情報

物質
 単一/混合物の区分: 混合物
 一般名: アクリル共重合体水性エマルジョン

危険有害成分:

成分名	CAS番号	官報公示整理番号(化審法・安衛法)	含有量(%)	化学物質管理促進法(PRTR法)
アクリル共重合体エマルジョン樹脂 (イソプロピルアルコールを1.0%未満含有)	非公開	非公開	30-40	対象外
防バイ剤	非公開	非公開	0.05-0.10	対象外
水性着色剤	非公開	非公開	0.3-1.0	含有量より対象外
水	7732-18-5	未設定	60-70	対象外

4. 応急措置

吸入した場合: 蒸気や臭いで気分が悪くなった場合は直ちに被災者を毛布等でぐるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。
 皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。発疹など異常がある場合は速やかに医師の診察を受ける。
 目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
 飲み込んだ場合: 水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出さない。
 応急措置をするものへの保護: 救助者は状況に応じて適切な保護具を着用する。
 医師に対する特別注意事項: 情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
 使ってはならない消火剤: 知見なし
 特有の危険有害性: 火災によって刺激性、毒性及び/又は腐食性のガスを発生する恐れがある。
 加熱により容器が爆発する恐れがある。
 火災発生場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
 特有の消火方法: 消火作業は風上から行う。
 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置を取る。
 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置: 作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。
 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
 密閉された場所に入る前に換気する。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
 河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。
 危険でなければ漏れを止める。
 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。
 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
 関係箇所に通報し応援を求める。
 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
 後で廃棄処理す
 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い

技術的対策: 保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用すること。
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。一禁煙。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。
局所排気・全体換気: 蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。
安全取扱い注意事項: 接触、吸入または飲み込んではいならない。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 蒸気を吸入しないこと。
 屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。

保管

技術的対策: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。
 容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。
保管条件: 冷所(10°C以下)、換気の良い場所で貯蔵すること。
 容器は直射日光や火気を避けること。
 指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。
 施錠して貯蔵すること。
容器包装材料: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標):

成分名	イソプロピルアルコール
管理濃度	—
許容濃度:産衛学会(2007年版)	400ppm
ACGIH(2005年版)TLV-TWA	200ppm

設備対策: 換気及び洗眼器、シャワー等の設置を配慮する。

保護具

呼吸器の保護具: 必要に応じ呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具: 保護手袋を着用すること。
眼の保護具: 眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具: 作業着等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など): エマルジョン状、白色
臭い: アクリル酸エステル臭
pH: データなし
融点/凝固点: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲: データなし
引火点: データなし
比重(密度): 1.0±0.1
溶解度: 水に可溶
n-オクタノール/水分分配係数: データなし
自然発火温度: データなし
分解温度: データなし
臭いのしきい値: データなし
蒸発速度: データなし
燃焼性(固体、気体): データなし
蒸気密度: データなし
粘度(粘性率): データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:、化学的安定性
安定性 常温では安定。
反応性 常温では安定。
避けるべき条件: 燃焼反応以外は知見なし
混触危険物質: 燃焼反応以外は知見なし
危険有害な分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素、水以外): 一酸化炭素ガス

11. 有害性情報

急性毒性

イソプロピルアルコール	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(ミスト)
	区分外 5500mg/kg	区分外 12870 mg/kg	分類対象外	区分外 29537ppm	分類できない

急性毒性(経口) 別表に示す含有成分のATEから混合物としてのATEを計算し、急性毒性(経口)を区分外に分類した。
急性毒性(経皮) 別表に示す含有成分のATEから混合物としてのATEを計算し、急性毒性(経皮)を区分外に分類した。
急性毒性(吸入:ガス) 別表に示す含有成分の区分がいずれも気体ではないことから、混合物としても分類対象外とした。
急性毒性(吸入:蒸気) 別表に示す含有成分のATEから混合物としてのATEを計算し、急性毒性(吸入)を区分外に分類した。
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) データなし。
皮膚腐食性および皮膚刺激性 データなし。

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	以下の各成分の含有量から区分外に分類した。 イソプロピルアルコール	区分外
呼吸器感作性	データなし。	
皮膚感作性	データなし。	
生殖細胞変異原性	データなし。	
発がん性	データなし。	
生殖毒性	以下の各成分の含有量から区分外に分類した。 イソプロピルアルコール	区分2
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし。	
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし。	
吸引性呼吸器有害性	分類対象外	
12. 環境影響情報		
水生環境急性有害性:	以下の各成分の含有量から区分外に分類した。 イソプロピルアルコール	区分外
水生環境慢性有害性:	以下の各成分の含有量から区分外に分類した。 イソプロピルアルコール	区分外

13. 廃棄上の注意:	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意		
陸上、海上、航空の国際規制及び国内規制		
国際規則		
国連分類	該当なし	
国連番号	該当なし	
容器等級	-	
緊急時応急指針番号	該当なし	
仕向け地の法律に従う。 MARPOL 73/78附属書 II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質		
国内規制		
陸上輸送	消防法に定められている輸送方法に従う。	
海上輸送	船舶安全法に定められている輸送方法に従う。	
航空輸送	航空法に定められている輸送方法に従う。	
輸送の特定の安全対策及び条件		
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 危険物は当該危険物が転落し、または危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 危険物または危険物を収納した容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬すること。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。		

15. 適用法令		
国内法令名称、規制		
労働安全衛生法:		
施工令 別表第一 危険物(第一条、第六条、第九条)		該当なし
有機溶剤中毒予防規則(有規則)		該当なし
特定化学物質予防規則(特化則)		
特定化学物質 第2類物質、管理第2類物質、特別管理物質、特別有機溶剤		該当なし
名称等を通知すべき危険物及び有害物(57条の2):	-プロピルアルコール	
名称等を表示すべき危険物及び有害物(57条):	該当なし	
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(通称 PRTR法):		
該当なし		
消防法:	非危険物	
その他:	該当無し	

16. その他の情報		
参考文献		
1) 化学物質の危険・有害性便覧(中央災害防止協会)		
2) 有機溶剤作業主任者テキスト(中央災害防止協会)		
3) 許容濃度等の勧告(2007年、日本産業衛生学会)		
4) ACGIH(2005年、日本作業環境測定学会)		

この安全データシートに記載の内容は、最善の調査に基づき現時点で入手できた情報により作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保証をするものではありません。本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用下さい。尚、法改正や新しい知見、製品の改良等に伴い、予告なく安全データシートを改訂する場合があります。